

社団法人日本気象学会
2008年度総会議案

日時：2008年5月19日13:30～15:20

場所：横浜開港記念会館

議案1 2007年度事業報告

1. 会員数の動向(2008年3月31日現在)

	() 内は前年比		
会員数合計	4,019(-69)	
通常会員	1,112(+15)	
一般	A	680(+48)	
	B	251(-1)	
学生	A	97(-25)	
	B	15(-7)	
高年	A	62(+2)	
	B	7(-2)	
特別会員	2,552(-50)	
一般	A	1,858(-24)	
	B	411(-44)	
	C	25(-2)	
	D	1(+1)	
学生	A	170(+17)	
	B	17(-10)	
高年	A	63(+9)	
	B	7(+3)	
団体会員	311(-33)	
団体	A	101(±0)	
	B	115(-15)	
	C	95(-18)	
賛助会員	33(-1)	
名誉会員	11(±0)	

2. 機関誌等の刊行

- (1) 天気 54巻4号～55巻3号 12冊(1,048頁、昨年度より73頁増) 各号4,200部印刷、電子ジャーナル版公開、54巻1号～12号に「創立125周年記念解説」48編、196ページを掲載
バックナンバーのPDF化とWebによる公開。
- (2) 気象集誌85巻2号～86巻1号、特別号85巻B(創立125周年記念発刊)、7冊(1,391頁、内特別号403頁、昨年度より486頁減) 各号1,250部印刷、電子ジャーナル版公開
創刊号からのPDF化とWebによる公開(JSTによるアーカイブ事業)
- (3) 英文レター誌 SOLA 第3～4巻
第3巻 24編 96ページ
第4巻 31編 124ページ
- (4) 気象研究ノート
ア 213号(創立125周年特別号第1部) 「次世代

に伝えたいことーあの人からの助言ー」(2007年5月) 160頁、1,500部

- イ 214号「オホーツク海の気象ー大気と海洋の双方向作用ー」(2007年8月) 178頁、1,400部
ウ 215号(創立125周年特別号第2部)「次世代への架け橋ー今プロジェクトリーダーが語るー」(2007年10月) 171頁、1,400部
エ 216号「2005/06年 日本の寒冬・豪雪」(2007年11月) 282頁、1,400部
オ 217号「気象学におけるデータ同化」(2008年2月) 260頁、1,400部

(5) 大会予稿集

- ア 春季大会(91号) 417頁 1,500部印刷
イ 秋季大会(92号) 538頁 1,500部印刷

3. 会議等の開催

- (1) 総会 2007年5月14日、国立オリンピック記念青少年総合センター
(出席者99名、総会参加票596名、計695名)
ア 2006年度事業報告・決算報告、2007年度事業計画・予算が承認された。
イ 理事の欠員に伴う補充及び理事の辞任に伴う後任候補の提案があり、提案のとおり承認された。
- (2) 理事会
第34期(第7回) 2007年5月13日、東京
第34期(第8回) 2007年10月14日、札幌
第34期(第9回) 2008年2月29日、東京
- (3) 常任理事会
第34期(第9回) 2007年4月11日、東京
第34期(第10回) 2007年5月13日、東京
第34期(第11回) 2007年6月18日、東京
第34期(第12回) 2007年7月25日、東京
第34期(第13回) 2007年9月10日、東京
第34期(第14回) 2007年10月14日、札幌
第34期(第15回) 2007年11月7日、東京
第34期(第16回) 2007年12月13日、東京
第34期(第17回) 2008年1月11日、東京
第34期(第18回) 2008年2月18日、東京
第34期(第19回) 2008年2月29日、東京
- (4) 評議員会
第34期(第2回) 2008年2月29日
会場：東京大学山上会館

4. 大会及び研究会等

- (1) 春季大会 2007年5月13-16日

- 会場：国立オリンピック記念青少年総合センター
(担当：東京大学気候システム研究センター)
シンポジウム：次世代の大気科学に期待すること
ー創立 125 周年記念国際シンポジウムー
- (2) 秋季大会 2007 年 10 月 14-16 日
会場：北海道大学学術交流会館(担当：北海道支部)
シンポジウム：雪氷圏から語る気象と気候
- (3) 研究連絡会
ア メソ気象研究連絡会
東京 2007 年 5 月 12 日
札幌 2007 年 10 月 13 日
イ オゾン研究連絡会
東京 2007 年 5 月 15 日
札幌 2007 年 10 月 14 日
ウ 極域・寒冷域研究連絡会
東京 2007 年 5 月 13 日
札幌 2007 年 10 月 14 日
エ 非静力学モデル研究連絡会
京都 2007 年 9 月 13-14 日
オ 天気予報研究連絡会
東京 2008 年 2 月 1 日
カ 航空気象研究連絡会
東京 2008 年 2 月 29 日
キ 統合的陸域圏研究連絡会
東京 2007 年 5 月 13 日
札幌 2007 年 10 月 14 日
ク 惑星大気研究連絡会
東京 2007 年 5 月 12 日
札幌 2007 年 10 月 14 日
ケ 地球観測衛星研究連絡会
札幌 2007 年 10 月 14 日
コ 気象教育研究連絡会
東京 2007 年 5 月 13 日
- (4) 月例会
ア 長期予報と大気大循環
東京 2007 年 11 月 26 日
- (5) 第 18 回夏の学校
札幌 2007 年 8 月 6-8 日
- (6) 他学会との共催等
ア 第 44 回アイソトープ・放射線研究発表会
2007 年 7 月 4-6 日
イ 第 24 回エアロゾル科学・技術検討会
2007 年 8 月 8 日
ウ 第 53 回風に関するシンポジウム
2007 年 6 月 21 日
第 54 回風に関するシンポジウム
2008 年 2 月 23 日
エ CAUSES に関する国際シンポジウム
2007 年 10 月 23-27 日
オ 第 45 回飛行機シンポジウム

2007 年 10 月 10-12 日

5. 研究業績の表彰

- (1) 日本気象学会賞
杉 正人 気象庁気象研究所
佐藤 正樹 海洋研究開発機構地球環境フロンティア研究センター・東京大学気候システム研究センター
富田 浩文 海洋研究開発機構地球環境フロンティア研究センター
- (2) 藤原賞
石 廣玉 中国科学院大気物理研究所
木田 秀次 京都大学名誉教授
- (3) 山本・正野論文賞
岩渕 弘信 海洋研究開発機構地球環境フロンティア研究センター
- (4) 堀内賞
阿部 彩子 東京大学気候システム研究センター
田近 英一 東京大学大学院理学研究科
- (5) 奨励賞
なし

6. 支部活動

- (1) 北海道支部
研究発表会 (札幌) 2007 年 6 月 15 日
(札幌) 2007 年 12 月 18-19 日
- (2) 東北支部
気象研究会 (仙台) 2007 年 11 月 22 日
- (3) 中部支部
支部研究会 (常滑市) 2007 年 11 月 19-20 日
- (4) 関西支部
ア 総会・年会 (大阪) 2007 年 6 月 23 日
イ 例会 (岡山) 2007 年 11 月 10 日
(高知) 2007 年 11 月 30 日
(神戸) 2008 年 2 月 22 日
- (5) 九州支部
支部発表会 (福岡) 2008 年 3 月 8 日
- (6) 沖縄支部
支部研究会 (那覇) 2007 年 11 月 29-30 日

7. 普及活動

- (1) 公開講演会 (東京) 2007 年 5 月 13 日
ー大雨の特徴と最近の傾向ー
ー竜巻の謎を探るー
ー台風-巨大な渦巻き
- (2) 第 41 回夏季大学 2007 年 8 月 4-5 日
気象庁講堂
「新しい気象学」ー気象のシミュレーション(2)ー
- (3) サイエンスカフェ
第 10 回～第 11 回 (東京)
- (4) 北海道支部
第 25 回気象講座 (札幌)
2007 年 7 月 31-8 月 1 日

- (5) 東北支部
 ア 創立 50 周年記念特別講演会 (仙台)
 2007 年 6 月 15 日
 ー東北の気候変動と長期予報 (季節予報) の歴史ー
 イ 気象講演会 (青森) 2007 年 11 月 9 日
 ー予報官が、そして衛星が捉える青森の空ー
- (6) 中部支部
 公開気象講座 (名古屋) 2007 年 8 月 26 日
- (7) 関西支部
 ア 第 29 回夏季大学 (京都)
 2007 年 8 月 7-8 日
 ー地球温暖化の現状と将来ー
 イ サイエンスカフェ (第 1 回、神戸)
- (8) 九州支部
 気象教室 (福岡) 2007 年 8 月 18 日
 ー渦の科学ー
- (9) 沖縄支部
 ア 親と子の気象教室 (沖縄市) 2007 年 8 月 10 日
 イ 防災気象講演会 (那覇) 2008 年 1 月 15 日
8. 国際学術交流活動
- (1) 第 3 回中韓日気象学会共催シンポジウム
 北京市 2007 年 11 月 14-16 日
- (2) 125 周年記念国際シンポジウム
 東 京 2007 年 5 月 15 日
 ー次世代の大気科学に期待することー
- (3) 国際学術研究集会参加補助
 なし
9. 電子情報関連
- (1) 学会ホームページ管理運営
 (2) メーリングリストの管理運営
 (3) 日本気象学会刊行物収録 DVD 刊行
10. 気象研究コンソーシアム
 本運用開始 2007 年 11 月 7 日
 参加研究課題数 13 件 (2008 年 3 月現在)
11. その他
- (1) 日本地球惑星科学連合への参加
 (2) 地球環境科学関連学会協議会参加

議案 2 2007年度収支決算報告
2-1 貸借対照総括表

貸借対照表総括表
2008年 3月31日現在

社団法人 日本気象学会

科 目	公益会計	収益会計	合 計
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	29,769,986	9,088,241	38,858,227
現 金	10,470	171,580	182,050
普 通 預 金	15,053,246	4,241,931	19,295,177
郵 便 振 替 貯 金	14,706,270	4,674,730	19,381,000
棚 卸 資 産	0	4,109,334	4,109,334
流動資産合計	29,769,986	13,197,575	42,967,561
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
貸 付 信 託 ・ 預 金	12,370,000	0	12,370,000
国 債	32,000,000	0	32,000,000
地 方 債	10,040,000	0	10,040,000
基本財産合計	54,410,000	0	54,410,000
(2) 特定資産			
退 職 給 与 引 当 資 産	162,827	0	162,827
特定資産合計	162,827	0	162,827
(3) その他固定資産			
什 器 備 品	364,892	0	364,892
その他固定資産合計	364,892	0	364,892
固定資産合計	54,937,719	0	54,937,719
資産合計	84,707,705	13,197,575	97,905,280
II 負債の部			
1. 流動負債			
通 常 会 員 前 受 会 費	8,148,050	0	8,148,050
特 別 会 員 前 受 会 費	17,695,826	0	17,695,826
預 り 金	82,500	0	82,500
流動負債合計	25,926,376	0	25,926,376
2. 固定負債			
退 職 金 引 当 金	1,500,000	0	1,500,000
固定負債合計	1,500,000	0	1,500,000
負債合計	27,426,376	0	27,426,376
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	57,281,329	13,197,575	70,478,904
(うち基本財産への充当額)	(54,410,000)	(0)	(54,410,000)
正味財産合計	57,281,329	13,197,575	70,478,904
負債及び正味財産合計	84,707,705	13,197,575	97,905,280

2-2 正味財産増減計算書総括表

正味財産増減計算書総括表
2007年 4月 1日から2008年 3月31日まで

社団法人 日本気象学会

科 目	公益会計	収益会計	合 計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基 本 財 産 運 用	[525,944]	[0]	[525,944]
受 取 会 費	[35,894,632]	[0]	[35,894,632]
事 業 収 益	[29,918,621]	[18,067,145]	[47,985,766]
受 取 補 助 金	[4,400,541]	[0]	[4,400,541]
雑 収 入 益	[582,412]	[33,696]	[616,108]
他 会 計 か ら の 繰 入 金	[630,000]	[0]	[630,000]
経常収益計	71,952,150	18,100,841	90,052,991
(2) 経常費用			
事 業 費	[58,833,324]	[10,512,528]	[69,345,852]
管 理 費	[19,395,428]	[7,113,256]	[26,508,684]
減 価 償 却 額	[137,533]	[0]	[137,533]
棚 卸 資 産 増 減 額	[0]	[△ 602,911]	[△ 602,911]
退 職 給 与 引 当 金 繰 入 額	[1,337,503]	[0]	[1,337,503]
他 会 計 へ の 繰 入 金	[0]	[630,000]	[630,000]
経常費用計	79,703,788	17,652,873	97,356,661
当期経常増減額	△ 7,751,638	447,968	△ 7,303,670
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 7,751,638	447,968	△ 7,303,670
一般正味財産期首残高	65,032,967	12,749,607	77,782,574
一般正味財産期末残高	57,281,329	13,197,575	70,478,904
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	57,281,329	13,197,575	70,478,904

2-3 財産目録総括表

財産目録総括表

2008年 3月31日現在

社団法人 日本気象学会

科 目	公益会計	収益会計	合 計	
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金預金	29,769,986	9,088,241	38,858,227	
現金手許有高	10,470	171,580	182,050	
普通預金	15,053,246	4,241,931	19,295,177	
みずほ銀行 丸之内支店	14,333,097	4,241,931	18,575,028	
中央三井信託銀行 本店営業部	10,883	0	10,883	
UFJ銀行 東京営業部	126,706	0	126,706	
住友信託銀行 東京営業部	582,560	0	582,560	
郵便振替貯金	14,706,270	4,674,730	19,381,000	
中央郵便局	14,706,270	4,674,730	19,381,000	
棚卸資産	0	4,109,334	4,109,334	
流動資産合計	29,769,986	13,197,575	42,967,561	
2. 固定資産				
(1) 基本財産				
貸付信託・預金	12,370,000	0	12,370,000	
中央三井信託①(藤原賞)	1,920,000	0	1,920,000	
住友信託銀行①(基本金)	1,750,000	0	1,750,000	
住友信託銀行②(山本・正野論文賞)	6,500,000	0	6,500,000	
住友信託銀行③(堀内賞)	600,000	0	600,000	
住友信託銀行④(藤原賞)	1,600,000	0	1,600,000	
国債	32,000,000	0	32,000,000	
野村証券(国際学術交流基金)	16,350,000	0	16,350,000	
住友信託銀行(基本金)	10,000,000	0	10,000,000	
日興コーディング証券(堀内賞)	5,650,000	0	5,650,000	
地方債	10,040,000	0	10,040,000	
野村證券②(国際学術交流基金)	10,040,000	0	10,040,000	
基本財産合計	54,410,000	0	54,410,000	
(2) 特定資産				
退職給与引当資産	162,827	0	162,827	
中央三井信託②	162,827	0	162,827	
特定資産合計	162,827	0	162,827	
(3) その他固定資産				
什器備品	364,892	0	364,892	
その他固定資産合計	364,892	0	364,892	
固定資産合計	54,937,719	0	54,937,719	
資産合計	84,707,705	13,197,575	97,905,280	
II 負債の部				
1. 流動負債				
通常会員前受会費	8,148,050	0	8,148,050	
一般A	4,357,900	0	4,357,900	
一般B	3,024,000	0	3,024,000	
学生A	340,200	0	340,200	
学生B	117,600	0	117,600	
高年A	251,650	0	251,650	
高年B	56,700	0	56,700	
特別会員前受会費	17,695,826	0	17,695,826	
一般A	11,720,693	0	11,720,693	
一般B	4,851,000	0	4,851,000	
学生A	625,450	0	625,450	
学生B	104,800	0	104,800	
高年A	243,600	0	243,600	
高年B	48,700	0	48,700	
一般C	101,583	0	101,583	
預り金	82,500	0	82,500	
懇親会費	82,500	0	82,500	
流動負債合計	25,926,376	0	25,926,376	
2. 固定負債				
退職金引当金	1,500,000	0	1,500,000	
固定負債合計	1,500,000	0	1,500,000	
負債合計	27,426,376	0	27,426,376	
正味財産	57,281,329	13,197,575	70,478,904	

2-4 収支計算書総括表

収支計算書総括表

2007年 4月 1日から2008年 3月31日まで

社団法人 日本気象学会

科 目	公益会計	収益会計	合 計
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
基本財産運用	[525,944]	[0]	[525,944]
会費収入	[35,894,632]	[0]	[35,894,632]
事業収入	[29,918,621]	[18,067,145]	[47,985,766]
補助金収入	[4,400,541]	[0]	[4,400,541]
雑収入	[582,082]	[33,696]	[615,778]
繰入金収入	[630,000]	[0]	[630,000]
事業活動収入計	71,951,820	18,100,841	90,052,661
2. 事業活動支出			
事業費支出	[58,833,324]	[10,512,528]	[69,345,852]
管理費支出	[19,395,428]	[7,113,256]	[26,508,684]
繰入金支出	[0]	[630,000]	[630,000]
事業活動支出計	78,228,752	18,255,784	96,484,536
事業活動収支差額	△ 6,276,932	△ 154,943	△ 6,431,875
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
基本財産取崩収入	[15,690,000]	[0]	[15,690,000]
投資活動収入計	15,690,000	0	15,690,000
2. 投資活動支出			
基本財産取得支出	[15,690,000]	[0]	[15,690,000]
投資活動支出計	15,690,000	0	15,690,000
投資活動収支差額	0	0	0
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
当期収支差額	△ 6,276,932	△ 154,943	△ 6,431,875
前期繰越収支差額	10,120,542	9,243,184	19,363,726
次期繰越収支差額	3,843,610	9,088,241	12,931,851

2-5 計算書類に対する注記

(1) 重要な会計方針

- 1) 有価証券の評価基準及び評価方法・・・総平均法による原価基準を採用している。
- 2) 棚卸資産の評価方法・・・移動平均法による原価法によっている。
- 3) 固定資産の減価償却・・・什器備品は定率法による減価償却を実施している。
- 4) 退職給付引当金・・・当期末における退職給付債務に基づき、当期末に発生していると認められる額を計上している。
- 5) 資金の範囲・・・現金預金、預かり金及び前受け金を含めることとしている。

(2) 次期繰越金の内容は次のとおりである。

科目	当期末残高	公益部門	収益部門
現金	¥182,050	¥10,470	¥171,580
普通預金	¥19,295,177	¥15,053,246	¥4,241,931
郵便振替貯金	¥19,381,000	¥14,706,270	¥4,674,730
合計	¥38,858,227	¥29,769,986	¥9,088,241
前受け会費	¥25,843,876	¥25,843,876	¥0
預かり金	¥82,500	¥82,500	¥0
次期繰越金額	¥12,931,851	¥3,843,610	¥9,088,241

(3) 基本財産の増減及びその残高は次のとおりである。

科目	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本金	¥0	¥0	¥11,750,000
藤原賞	¥0	¥0	¥3,520,000
山本・正野論文賞	¥0	¥0	¥6,500,000
国際学術交流基金	¥0	¥0	¥26,390,000
堀内賞	¥0	¥0	¥6,250,000
合計	¥0	¥0	¥54,410,000

(4) 固定資産の減価償却及び当期末残高は次のとおりである。

科目	前期末残高	原価償却額	当期末残高
什器備品	¥502,425	¥137,533	¥364,892

2-6 会計別収支計算表

2007年度収支予算書について

1 収支予算書の誤りにについて

2007年度収支予算書の公益会計において、「I 事業活動収支の部」「1 事業活動収入」に「125周年積立金取り崩し収入」として9,910,765円を計上した。しかし「125周年積立金」はすでに「前期繰越収支差額」の一部として2007年度への繰越金としても計上されていたため、この額が予算書に二重に計上される結果となった。

今回この誤りを訂正した結果、「次期繰り越し収支差額」(2008年度への繰越額)は、10,188,307円から277,542円となった。

今後このような誤りが生じないよう十分な注意を払うとともに、チェック体制および方法の改善を図る。

2 予算の補正について

第8回理事会において、2007年度収支予算の補正を行った。主な内容は以下のとおりである。

(公益会計) 事務局関連経費にPCの更新および会員管理ソフトの改修・保守経費等として526,000円を増額した。

(収益会計) 気象研究ノートの発行巻数増に伴い、事業収入(販売収入)に1,060,000円を増額、事業支出(印刷等の支出)に4,700,000円を増額した。租税公課および法人税等の支出について、当初見込みと実際額との差により640,000円を減額した。

(公益会計および収益会計) 退職支出金を480,000円、総会・役員会支出(会議費等)を276,000円減額し、規定に従い減額分を公益会計および収益会計に振り分けた。

以上の結果、公益会計の当期収支差額は当初予算と変わらず、収益会計の当期収支差額は当初33,000円から補正後-2,737,000円となり、収益会計の次期繰越収支差額は、当初9,276,184円から補正後6,506,184円となった。

(1) 公益会計

収支計算書

2007年 4月 1日から2008年 3月31日まで

社団法人 日本気象学会
公益会計

科 目	予算額	決算額	差 異
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
基 本 財 産 運 用	[400,000]	[525,944]	[△ 125,944]
基 本 金	140,000	144,787	△ 4,787
藤 原 賞	15,000	19,209	△ 4,209
山 本 ・ 正 野 論 文 賞	55,000	54,748	252
堀 内 賞	10,000	41,392	△ 31,392
国 際 交 流 基 金	180,000	265,808	△ 85,808
会 費 収 入	[35,700,000]	[35,894,632]	[△ 194,632]
通 常 会 員 会 費	8,300,000	8,377,280	△ 77,280
特 別 会 員 会 費	20,200,000	19,594,894	605,106
団 体 会 員 会 費	4,470,000	5,272,458	△ 802,458
賛 助 会 員 会 費	2,730,000	2,650,000	80,000
事 業 収 入	[30,350,000]	[29,918,621]	[431,379]
天 気 象 集 誌	1,550,000	1,384,094	165,906
S O L A	8,850,000	9,522,002	△ 672,002
予 稿 集	3,150,000	1,950,480	1,199,520
大 会 開 催	7,900,000	7,973,685	△ 73,685
教 育 と 普 及	8,450,000	8,711,360	△ 261,360
そ の 他 事 業 収 入	420,000	377,000	43,000
	30,000	0	30,000

科 目	予算額	決算額	差 異
補 助 金 収 入	[4,400,000]	[4,400,541]	[△ 541]
科 学 研 究 費	4,400,000	4,400,541	△ 541
雑 収 入	[200,000]	[582,082]	[△ 382,082]
受 取 利 息	10,000	140,243	△ 130,243
著 作 権 複 写 許 可 料	180,000	130,637	49,363
そ の 他	10,000	311,202	△ 301,202
繰 入 金 収 入	[0]	[630,000]	[△ 630,000]
収 益 会 計 より 繰 入 金 収 入	0	630,000	△ 630,000
事業活動収入計	71,050,000	71,951,820	△ 901,820
2. 事業活動支出			
事 業 費 支 出	[61,347,000]	[58,833,324]	[2,513,676]
天 気 象 集 誌	24,220,000	20,275,753	3,944,247
S O L A	19,670,000	22,430,703	△ 2,760,703
予 稿 集	2,962,000	2,419,680	542,320
大 会 開 催	1,470,000	1,887,359	△ 417,359
教 育 と 普 及	9,950,000	8,934,388	1,015,612
表 彰 ・ 奨 励	341,000	446,739	△ 105,739
国 際 学 術 交 流 会	1,624,000	1,920,315	△ 296,315
そ の 他 委 員 会	350,000	0	350,000
研 究 他 連 絡 会	610,000	459,745	150,255
そ の 他 事 業 費	150,000	43,642	106,358
管 理 費 支 出	0	15,000	△ 15,000
人 件 費 支 出	[19,046,000]	[19,395,428]	[△ 349,428]
事 務 局 関 連 経 費 支 出	9,570,000	10,039,975	△ 469,975
電 子 情 報 支 出	5,200,000	5,196,632	3,368
電 算 機 開 発 管 理	10,000	10,631	△ 631
総 会 ・ 役 員 会 支 出	126,000	126,000	0
選 挙 費 用 支 出	1,454,000	1,073,815	380,185
支 部 交 付 金 支 出	166,000	156,060	9,940
租 税 公 課 支 出	2,200,000	2,525,400	△ 325,400
事業活動支出計	320,000	266,915	53,085
事業活動収支差額	80,393,000	78,228,752	2,164,248
II 投資活動収支の部	△ 9,343,000	△ 6,276,932	△ 3,066,068
1. 投資活動収入			
基 本 財 産 取 崩 収 入	[0]	[15,690,000]	[△ 15,690,000]
貸 付 信 託 ・ 預 金	0	620,000	△ 620,000
公 社 債 信 託	0	15,070,000	△ 15,070,000
投資活動収入計	0	15,690,000	△ 15,690,000
2. 投資活動支出			
基 本 財 産 取 得 支 出	[0]	[15,690,000]	[△ 15,690,000]
国 債	0	5,650,000	△ 5,650,000
地 方 債	0	10,040,000	△ 10,040,000
投資活動支出計	0	15,690,000	△ 15,690,000
投資活動収支差額	0	0	0
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
IV 予備費支出	[500,000]	—	[500,000]
当期収支差額	△ 9,843,000	△ 6,276,932	△ 3,566,068
前期繰越収支差額	10,120,542	10,120,542	0
次期繰越収支差額	277,542	3,843,610	△ 3,566,068

(2) 収益会計

収支計算書

2007年 4月 1日から2008年 3月31日まで

社団法人 日本気象学会
収益会計

科 目	予算額	決算額	差 異
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
事業収入	[15,090,000]	[18,067,145]	[△ 2,977,145]
天気集誌	3,310,000	3,173,435	136,565
気象研究所ノット	1,190,000	1,300,342	△ 110,342
気象研究ノット	7,510,000	9,419,403	△ 1,909,403
予稿集	400,000	392,500	7,500
書店扱い	2,680,000	3,535,865	△ 855,865
その他事業収入	0	245,600	△ 245,600
雑収入	[20,000]	[33,696]	[△ 13,696]
著作権複写許可料	20,000	0	20,000
印税	0	33,696	△ 33,696
事業活動収入計	15,110,000	18,100,841	△ 2,990,841
2. 事業活動支出			
事業費支出	[10,320,000]	[10,512,528]	[△ 192,528]
天気集誌	1,450,000	1,590,142	△ 140,142
気象研究所ノット	920,000	1,284,596	△ 364,596
気象研究ノット	7,930,000	7,637,790	292,210
予稿集	20,000	0	20,000
管理費支出	[7,167,000]	[7,113,256]	[53,744]
人件費支出	3,190,000	3,346,658	△ 156,658
事務局関連経費支出	1,650,000	1,732,911	△ 82,911
電子情報支出	10,000	3,544	6,456
総会・役員会支出	430,000	357,938	72,062
選挙費用支出	57,000	52,020	4,980
支部交付金支出	1,100,000	841,800	258,200
租税公課支出	1,300,000	218,385	1,081,615
法人税等支出	△ 570,000	560,000	△ 1,130,000
繰入金支出	[0]	[630,000]	[△ 630,000]
公益会計へ繰入金支出	0	630,000	△ 630,000
その他事業活動支出	[180,000]	[0]	[180,000]
事業活動支出計	17,667,000	18,255,784	△ 588,784
事業活動収支差額	△ 2,557,000	△ 154,943	△ 2,402,057
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
投資活動支出計	0	0	0
投資活動収支差額	0	0	0
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
IV 予備費支出	[180,000]	—	[180,000]
当期収支差額	△ 2,737,000	△ 154,943	△ 2,582,057
前期繰越収支差額	9,243,184	9,243,184	0
次期繰越収支差額	6,506,184	9,088,241	△ 2,582,057

議案 3 2007年度監査報告

2007年度社団法人日本気象学会監査報告

2007年度社団法人日本気象学会財産及び業務執行の監査結果を次のとおり報告する。

1. 監査月日

2008年4月7日(月)

2. 監査場所

東京都千代田区大手町1-3-4 気象庁内
日本気象学会事務局

3. 監査帳簿

- (1) 2007年度収支計算書
- (2) 総勘定元帳、仕訳帳
- (3) 現金出納帳
- (4) 普通預金明細票
- (5) 郵便振替受払通知票
- (6) 領収書類
- (7) 財産目録総括表
- (8) 預金証書、預金通帳
- (9) 気象研究ノート棚卸調
- (10) 備品台帳
- (11) 2007年度事業報告書

4. 監査内容

- (1) 2007年度収支計算書及びその他の計算書について、その経理状況を監査するとともに財政状況を調べた。
- (2) 上記の帳簿類について照合を行うとともに出納状況記載事項の監査を実施した。
- (3) 学会の運営状況を聴取し意見を述べた。

5. 監査意見

2007年度(2007年4月1日から2008年3月31日まで)の会計に関する帳簿類は、照合の結果、正確であり、収支計算書その他の計算書は正しいと認める。

2007年度の当期収支差額は、公益事業が約628万円の赤字、収益事業は約15万円の赤字になり、総計で約643万円の赤字であった。2007年度単年の特殊事情として、気象学会創立125周年記念事業に関係した支出が約900万円あったことが挙げられ、この支出を除くと収支差額は約250万円の実質黒字となる。2002年度から2005年度まで4

期連続で赤字が続いていた状態と比較して、2006年度に引き続き実質的に黒字が維持できた要因としては、2006年度実施の大会予稿集の価格改定による増収や、大会参加費改定による大会開催収支の改善などが挙げられる。ただし、今後予定される公益法人への移行対応に伴う事務経費の増大など、今後はいくつかの経費増加要因が考えられるので、財政状況の健全性確保について引き続き注意していく必要がある。

会員数については、1999年度以降減少傾向が続いており、この一年間については、個人会員は35名、団体会員は33件の減少となった。会員減少数は2006年度に比較して増大しており、会費収入も、2000年度の4,115万円から2007年度は3,589万円に減少している。より多くの方々に学会に参加して頂けるよう、気象予報士会に対する気象学会からの働きかけや、教育普及活動の推進などの努力を引き続き継続させていくことが重要である。

2007年には気象学会創立125周年記念事業として、「天気」誌上の記念解説ページや、「気象集誌」特別号が出版された。また春季大会で開催された記念シンポジウムは、多くの参加者を集めた。「天気」や「気象集誌」の創刊号からのpdf版バックナンバーの公開が進められるなど、学会員の利便性に配慮した活動も評価したい。今後も引き続き、気象学に関わる研究活動の更なる活性化が図られるとともに、教育普及活動の推進などとあわせて、学会が社会の様々な分野と交流を深め、更に開かれた存在となることを期待する。

この1年間、様々な学会活動に熱心に取り組んでこられた理事、各委員会委員、事務局の努力に敬意を表する。

2008年4月7日

監事

高野 功



監事

北川 裕人



議案4 日本気象学会第35期役員選任について

4-1 役員候補者選挙において当選した役員候補者

(記載は選挙名簿順、所属は立候補時の所属)

(1) 全国区・理事 (定数9名)

津田 敏隆 京都大学生存圏研究所教授
 新野 宏 東京大学海洋研究所教授
 林田 佐智子 奈良女子大学理学部教授
 中島 映至 東京大学気候システム研究センター長
 余田 成男 京都大学大学院理学研究院教授
 田中 博 筑波大学生命環境科学研究科教授
 近藤 豊 東京大学先端科学技術センター教授
 安成 哲三 名古屋大学地球水循環研究センター教授
 住 明正 東京大学サステナビリティ学連携研究機構地球持続戦略研究イニシアティブ総括ディレクター、教授

(2) 地方区・理事 (定数13)

〔北海道地区〕 (定数2名)

山崎 孝治 北海道大学大学院地球環境科学院教授
 内田 裕之 札幌管区気象台技術部予報課長

〔東北地区〕 (定数2名)

岩崎 俊樹 東北大学大学院理学研究科教授
 関田 康雄 仙台管区気象台技術部長

〔関東地区〕 (定数2名)

藤部 文昭 気象研究所予報研究部第3研究室長
 近藤 裕昭 (独) 産業技術総合研究所環境管理技術研究部門大気環境評価研究グループ長

〔中部地区〕 (定数2名)

中村 健治 名古屋大学地球水循環研究センター教授
 湯田 憲一 名古屋地方気象台長

〔関西地区〕 (定数2名)

里村 雄彦 京都大学大学院理学研究科教授
 隈 健一 大阪管区気象台技術部長

〔九州地区〕 (定数2名)

伊藤 久徳 九州大学大学院理学研究院教授
 山田 眞吾 福岡管区気象台技術部長

〔沖縄地区〕 (定数1名)

伊藤 秀美 沖縄気象台長

(3) 全国区・監事 (定数2名)

藤川 典久 気象庁地球環境・海洋部気候情報課予報官
 北川 裕人 気象庁予報部数値予報課予報官

4-2 理事候補者選挙当選者からの推薦による理事候補者

【全国区・理事】

藤谷 徳之助 (財) 日本気象協会顧問

推薦理由：藤谷会員は、気象研究所に長年勤務された後、気象庁の地方官署、本庁の勤務を経て、気象研究所長を務め、気象業務・気象研究の双方に豊富な知識と経験を備えている。1990年から1995年までは第26-28期理事として「天気」編集委員長を務めるなど学会の運営にも多くの貢献があり、第34期理事会においては、総合計画担当理事として、昨年7月に施行された公益法人法の下で、日本気象学会が公益社団法人に移行するための検討や地球惑星科学連合との関係の調整に当たってきている。今後、公益社団法人への移行に向けた取り組みを進めると共に、学会が抱える多くの課題を解決して行く上で、藤谷会員の知識と経験を活かしていただくことは是非とも必要であり、理事候補として推薦する。

石田 純一 気象庁予報部数値予報課予報官

推薦理由：石田会員は、気象庁数値予報課で長くメソスケール数値予報モデルの開発に携わってきた。平成18年から2年間英国気象局に派遣され、可変格子モデルの開発グループに参加して大きな成果をあげ、その功績により同気象局の「優秀賞」を受賞するなど目覚ましい活躍をされている。帰任後は、英国で得た知識や経験が気象庁の数値予報業務の発展に生かされるものと期待される。メソスケールモデルを通じた豪雨などのシビア現象の理解は、気象庁の今後の防災業務に重要であるばかりでなく、気象災害の多い日本の気象研究にも大きく貢献するものである。石田会員のモデル開発やその応用に関する知識や経験に加え、これらの仕事を通じて培った緻密な思考力は、今後の気象学会の活動に大いに生かされると期待される。以上のことから石田会員を理事候補として推薦する。

中本 能久 気象庁総務部企画課調査官

推薦理由：中本会員は、現在気象庁総務部企画課に属している。前任の気象研究所では、企画室において7年間にわたり研究計画の策定等に携わっており、気象研究の最前線のみならず、気象研究全般について幅広い知識を有している。また、これまでの業務経歴から、通信や観測業務、一般管理業務等の経験も豊富であり、これらの仕事を通じて培った能力、知識を今後の学会の活動に生かしていただきたいと考え、理事候補として推薦する。

三上 正男 気象研究所物理気象研究部第二研究室長

推薦理由：推薦理由：三上会員は、気候変動と密接に関係する砂漠化機構の解明を目的に、中国タクラマカン砂漠で長期にわたり観測を行い、風送ダストの気候インパクトに関する研究(ADEC)プロジェクトを成功させた。同会員は、これらの研究活動を通じてアジアの大気科学研究者との間に多くの人脈を有している。同会員はまた、33期理事として電子レター誌SOLAの創刊に尽力し、創刊後は運営委員の中心として編集委員長を助け、SOLAの発展に貢献してきた。これら国際的な研究プロジェクトの推進やアジアの研究者との交流、学会誌の創刊・編集・運営の経験は、今後の気象学会の活動に大いに活かされると期待される。以上のことから三上会員を理事候補として推薦する。

佐藤 薫 東京大学大学院理学研究科教授

推薦理由：佐藤会員は、大型大気レーダー観測、南極観測、大気大循環モデルの解析、線型理論などを用いて大気力学に関わる極めて広範な研究活動を展開しており、多くの優れた研究論文を著名な論文誌に発表してきた。同会員は、また論文誌間の国際競争が激化する中、気象集誌の編集委員に就任し、多くの論文の編集に携わるとともに、気象集誌の運営に積極的に発言し、その発展に尽くしてきている。さらに、佐藤会員は、日本学術会議の連携会員、日本地球惑星科学連合の男女共同参画委員会委員、連合大会プログラム委員などに就任し、気象学会と日本学術会議や地球惑星科学連合との連携に尽力してき

た。1999年から2007年の期間は、IAMAS傘下のICMA（中層大気科学委員会）の国際委員、2002年からはSCOSTEP Scientific Discipline Representativeを務め、日本の研究成果を世界に積極的に発信する仕事もしてきている。これらの優れた研究・学術活動の経験を是非とも今後の気象学会の運営に生かしていただきたく、佐藤会員を日本気象学会理事に推薦する。

4-3 理事候補者の辞任に伴う追加推薦について

第35期理事候補者から、理事候補を辞任したいとの届が理事長に対して提出され、日本気象学会定款第21条の規定によりこれを承認しました。また後任の理事候補として、日本気象学会細則第6条第11項の規定に基づき、理事会の議を経て、辞任した理事候補の所属支部から推薦があった会員を理事長から推薦することと致しました。総会で議決していただくようお願いします。

今回辞任された理事候補者及び後任理事候補者は以下のとおりです。

（北海道地区）

辞任理事候補者 内田 裕之

後任理事候補者 佐々木 洋

（中部地区）

辞任理事候補者 湯田 憲一

後任理事候補者 牧原 康隆

（関西地区）

辞任理事候補者 隈 健一

後任理事候補者 里田 弘志

（沖縄地区）

辞任理事候補者 伊藤 秀美

後任理事候補者 赤枝 健治

後任候補者の推薦理由は以下のとおりです。

候補者：佐々木 洋

所属・現職：札幌管区気象台技術部予報課長

推薦理由：佐々木会員は、気象庁へ入庁後、山形地方気象台を皮切りに南極観測隊、仙台・札幌両管区気象台、気象庁予報部情報システム課・数値予報課・予報課、この1年は東京航空地方気象台予報課と、幅広く勤務し、特に予報業務に関しては短期予報から季節予報、航空予報まで広い知識を有している。佐々木会員は、これらの豊富な経験と知識を活かし、幅広い視点から学会の活動や運営に貢献することが期待される。以上のことから、佐々木会員を理事候補として推薦する。

候補者：牧原 康隆

所属・現職：名古屋地方気象台長

推薦理由：牧原会員は、気象庁予報部予報課において、レーダーの利用技術の開発、特に解析雨量や降水短時間予報の開発および改善に携わり、天気予報および注意報・警報など防災気象情報の高度化に貢献した。その後、仙台管区気象台技術部では、地方における気象防災行政を担当・指導した。再び気象庁予報部予報課に戻ってからは、予報業務の中核として、土砂災害警戒情報の業務化、新しい警報基準の策定などを指導した。この間の2006年度には「レーダー利用による短時間降水・土砂災害予報の技術開発」によって藤原賞を受賞した。このように牧原会員は、予報業務の分野で指導的な役割を果たしており、過去には東北支部で理事の経験もある。これらの知識と経験をもとに、第35期の地区推薦理事として中部地区の学会活動と運営に活躍することが期待されることから、牧原会員を理事候補として推薦する。

候補者：里田 弘志

所属・現職：大阪管区気象台技術部長

推薦理由：里田会員は、気象庁における現業業務や数値予報技術開発で気象技術の基盤への知見を高めた後、気候変動対策業務、なかでも、気候変動に関する政府間パネルや気候変動枠組条約への対応に携わってきた。また、世界気象機関に2年間勤務するなど、国際関係の業務の経験も長い。こうした経験を通じて里田会員は、行政分野からの要請に応じて、科学的理解を意思決定者に正確に伝えるにはどうすればよいか、またそのような知見をさらに市民レベルでの理解と具体的な行動につなげるにはどうすればよいか、といった意識を強く持っている。里田会員のこうした知見や考え方は、普及啓発活動や異分野との連携等、開かれた気象学会の活動に貢献することが期待される。以上のことから、里田弘志会員を理事として推薦する。

候補者：赤枝 健治

所属・現職：沖縄気象台次長

推薦理由：赤枝会員は、気象庁入庁後気象研究所台風研究部を経て、気象庁観測部観測技術課調査官、気象研究所主任研究官、気象庁観測部観測課課長補佐を歴任し、現職の沖縄気象台次長に至っている。この間、リモートセンシングを用いたメソ気象の監視技術の研究に積極的に取り組み、ドップラー気象レーダーを用いた竜巻やダウンバースト等の突風現象の監視技術、メソ対流系の階層構造の研究、低層ウィンドシアー及び内部重力波の研究、ミリ波レーダーを用いた霧の監視技術等、幅広い分野で活躍している。また、その研究成果は、「天気」や「気象研究ノート」にも多数紹介されている。現在は、これらの知識と経験をもとに、沖縄気象台技術次長として、沖縄地方の気象観測・予報業務全般を統括・指導する立場にあり、沖縄地区の学会活動と運営に多大なる貢献が期待される。よって赤枝会員を理事候補として推薦する。

議案 5 第 34 期日本気象学会名誉会員候補の推薦について

表記について、推薦に関する定款及び基本原則に則り、名誉会員推薦委員会、常任理事会、並びに理事会において慎重に審議し、下記の 5 名の会員を名誉会員候補として推薦いたします。

記

名誉会員推薦候補者（五十音順）

浅井富雄会員

積雲対流、メソ気象現象、局地循環に関する基礎的研究で多くの業績をあげられるとともに、地球環境および気候変動に関する啓発的研究や全球大気開発計画（GARP）の推進に尽力された。また、京都大学ならびに東京大学において多くの優れた研究者を育成された。さらに、(社)日本気象学会理事長として、多年にわたり学会運営にも貢献された。

立平良三会員

気象庁レーダーの観測データを用いた降水現象の解析で顕著な業績をあげられるとともに、レーダーのデジタル化や降水短時間予報業務に貢献された。また、数値予報プロダクトの利用技術開発、特に降水確率予報の導入に貢献された。さらに、論文、解説、総合報告、著作により気象学の発展にも大きな貢献をされた。

田中正之会員

大気放射学の分野で大きな貢献をされるとともに、二酸化炭素等の観測においても多くの成果をあげられ、地球温暖化研究に貢献された。また、東北大学において多くの優れた研究者を育成された。さらに、大気科学・海洋科学分野を代表する研究者として、研究体制の整備や啓発活動など社会との接点においても中心的役割を果たされた。

新田尚会員

数値予報の研究分野において多くの業績をあげられるとともに、気象庁数値予報モデルの高度化に主導的に貢献された。また、世界気象機関（WMO）において、全球大気開発計画（GARP）を先導的に推進された。さらに、幅広い著作活動を通じて、気象学の教育と普及にも多大の貢献をされた。

Yanai, Michio (柳井迪雄) 会員

Yanai-Maruyama wave の発見、積雲対流と大規模場との相互作用、アジアモンスーン循環の解明などで顕著な業績をあげられるとともに、東京大学および米国カリフォルニア大学ロサンゼルス校（UCLA）において研究と教育にあたられ、多くの優れた研究者の育成に貢献された。

議案 6 2008 年度事業計画 (案)

従来の事業を継続実施するとともに、新公益法人制度のもとで、2010 年度に公益社団法人の認定申請を行うことを目標に必要な準備を進める。

1. 機関誌等の刊行

- (1) 天気：55 巻 4 号～56 巻 3 号
- (2) 気象集誌：86 巻 2 号～87 巻 1 号および特別号
- (3) 英文レター誌 SOLA：第 4～5 巻
- (4) 気象研究ノート：218 号～219 号
- (5) 大会講演予稿集：
春季大会 93 号、秋季大会 94 号
- (6) 電子ジャーナル版：天気、気象集誌

2. 会議等の開催

- (1) 通常総会 2008 年度総会 (5 月 19 日)
- (2) 理事会 3 回 (5 月、10 月、3 月)
- (3) 常任理事会 11 回
- (4) 評議員会 1 回 (3 月)
- (5) 監事会 1 回 (4 月)

3. 各委員会等の活動

- (1) 天気編集委員会
- (2) 気象集誌編集委員会
- (3) SOLA 編集委員会
- (4) 気象研究ノート編集委員会
- (5) 総合計画委員会
- (6) 講演企画委員会
- (7) 教育と普及委員会
- (8) 各賞候補者推薦委員会等
- (9) 国際学術交流委員会
- (10) 電子情報委員会
- (11) 用語検討委員会
- (12) 地球環境問題委員会
- (13) 名誉会員推薦委員会
- (14) 気象研究コンソーシアム検討委員会

4. 大会及び研究会等

- (1) 春季大会
期日：2008 年 5 月 18 (日)～21 日 (木)
会場：横浜市開港記念会館、横浜情報文化センター (担当：海洋研究開発機構、防衛大学校)
シンポジウム：5 月 20 日 (火)
題名：海洋観測が切り拓く気候システム科学

(2) 秋季大会

期日：2008 年 11 月 19 (水)～21 日 (金)
会場：仙台国際センター
(担当：東北支部)
シンポジウム日程：未定
題名：未定

(3) 研究連絡会

- ア メソ気象研究連絡会
 - イ オゾン研究連絡会
 - ウ 大気海洋陸面相互作用研究連絡会
 - エ 極域・寒冷域研究連絡会
 - オ 気象教育研究連絡会
 - カ 非静力学数値モデル研究連絡会
 - キ 地球観測衛星研究連絡会
 - ク 天気予報研究連絡会
 - ケ THORPEX 研究連絡会
 - コ 航空気象研究連絡会
 - サ 総合的陸域圏研究連絡会
 - シ 惑星大気研究連絡会
- (4) 月例会
ア 長期予報と大気大循環
イ レーダー気象
 - (5) 気象若手会「夏の学校」支援

5. 研究業績の表彰

- (1) 日本気象学会賞
- (2) 藤原賞
- (3) 山本・正野論文賞
- (4) 堀内賞
- (5) 奨励賞

6. 支部研究活動

- (1) 北海道支部
1 回目：2008 年 6 月 (札幌)
2 回目：2008 年 12 月 (札幌)
- (2) 東北支部
期 日：未定
場 所：仙台
- (3) 中部支部
期日等：2008 年 10 月頃 (名古屋)
- (4) 関西支部
総会・年会：2008 年 6 月 (大阪)
中国地区：2008 年 11 月頃 (広島)
四国地区：2008 年 11 月頃 (未定)
関西地区：2009 年 2 月 (神戸)
- (5) 九州支部
期 日：2009 年春の予定

場 所：未定
 (6) 沖縄支部
 期 日：未定
 場 所：宮古島市

7. 普及活動

- (1) 本部
 ア 公開気象講演会
 期 日：2008年5月18日
 場 所：横浜市開港記念会館
 イ 第42回夏季大学
 期 日：2008年8月2-3日
 場 所：未定
 テーマ：気象のシミュレーション(3)
- (2) 北海道支部
 ア 第26回気象講座
 期 日：2008年8月
 場 所：札幌
 テーマ：未定
 イ 気象講演会
 期 日：2008年6月
 場 所：未定
- (3) 東北支部
 気象講演会
 期 日：未定
 場 所：福島
 テーマ：未定
- (4) 中部支部
 公開気象講座
 期 日：2008年8月頃
 場 所：名古屋(予定)
 テーマ：未定
- (5) 関西支部
 ア 第29回夏季大学
 期 日：2008年8月予定
 場 所：未定
 テーマ：未定
 イ サイエンスカフェ in 関西(未定)
- (6) 九州支部
 気象教室
 期 日：2008年夏の予定
 題 目：未定
- (7) 沖縄支部
 ア 防災気象講演会
 期 日：未定
 場 所：那覇

テーマ：未定
 イ 親と子の気象教室
 期 日：2008年8月頃
 場 所：未定
 テーマ：未定

8. 対外活動(他学会との共催等)

- (1) 第44回アイントープ・放射線研究発表会
 2008年7月2-4日
 (2) 第57回理論応用力学講演会
 2008年6月10-12日
 (3) 第55回風に関するシンポジウム
 未定

9. 国際学術交流活動

- (1) 国際交流事業への支援・補助

10. 電子情報関連

- (1) 学会ホームページ管理運営
 (2) メーリングリストの管理運営
 (3) 学会刊行物のDVD発刊

11. 気象研究コンソーシアム

共同研究の推進

12. その他

- (1) 日本地球惑星科学連合参加

13. 事務局の構成

事務局長 鈴木 康夫
 事務局員 田沢 秀隆
 棚橋 公子
 萩原 武士

議案 7 2008年度収支予算(案)

2008年度収支予算の特徴は以下のとおりである。

- (1) 事業活動収支については、2007年度における125周年記念事業を除く事業活動収支の実績および印刷費等の入札結果を勘案しながら、当期の収支がほぼ均衡するよう計画した。
- (2) 管理費について、事務局の体制強化に伴う人件費の増額、事務局借料の改定に伴う増額を計上した。

7-1 収支予算(案)総括表

収支予算書総括表

2008年4月1日から2009年3月31日まで

社団法人 日本気象学会

科 目	公益会計	収益会計	合 計
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
基 本 財 産 運 用	[560,000]	[0]	[560,000]
会 費 収 入	[35,093,000]	[0]	[35,093,000]
事 業 収 入	[29,835,000]	[15,230,000]	[45,065,000]
補 助 金 収 入	[4,000,000]	[0]	[4,000,000]
雑 収 入	[155,000]	[20,000]	[175,000]
事業活動収入計	69,643,000	15,250,000	84,893,000
2. 事業活動支出			
事 業 費 支 出	[47,366,000]	[6,726,000]	[54,092,000]
管 理 費 支 出	[21,987,000]	[8,147,000]	[30,134,000]
事業活動支出計	69,353,000	14,873,000	84,226,000
事業活動収支差額	290,000	377,000	667,000
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
投資活動支出計	0	0	0
投資活動収支差額	0	0	0
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
IV 予備費支出	[290,000]	[180,000]	[470,000]
当期収支差額	0	197,000	197,000
前期繰越収支差額	3,843,610	9,088,241	12,931,851
次期繰越収支差額	3,843,610	9,285,241	13,128,851

7-2 会計別収支予算(案)

(1) 公益会計

収支予算書

2008年 4月 1日から2009年 3月31日まで

社団法人 日本気象学会
公益会計

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
基本財産運用	[560,000]	[400,000]	[160,000]
基本金	140,000	140,000	0
藤原賞	21,000	15,000	6,000
山本・正野論文賞	55,000	55,000	0
堀内賞	44,000	10,000	34,000
国際交流基金	300,000	180,000	120,000
会費収入	[35,093,000]	[35,700,000]	[△ 607,000]
通常会費	8,659,000	8,300,000	359,000
特別会費	19,328,000	20,200,000	△ 872,000
団体費	4,416,000	4,470,000	△ 54,000
賛助会費	2,690,000	2,730,000	△ 40,000
事業収入	[29,835,000]	[30,350,000]	[△ 515,000]
天気象集誌	1,400,000	1,550,000	△ 150,000
SO L A集	8,850,000	8,850,000	0
予稿集	2,835,000	3,150,000	△ 315,000
大会開催	7,900,000	7,900,000	0
教育と普及	8,450,000	8,450,000	0
その他の事業収入	400,000	420,000	△ 20,000
補助金収入	0	30,000	△ 30,000
科学研究費	[4,000,000]	[4,400,000]	[△ 400,000]
雑収入	4,000,000	4,400,000	△ 400,000
受取利息	[155,000]	[200,000]	[△ 45,000]
著作権複写許可料	25,000	10,000	15,000
その他の	120,000	180,000	△ 60,000
	10,000	10,000	0
事業活動収入計	69,643,000	71,050,000	△ 1,407,000
2. 事業活動支出			
事業費支出	[47,366,000]	[61,347,000]	[△ 13,981,000]
天気象集誌	17,460,000	24,220,000	△ 6,760,000
SO L A集	14,290,000	19,670,000	△ 5,380,000
予稿集	2,826,000	2,962,000	△ 136,000
大会開催	1,970,000	1,470,000	500,000
教育と普及	7,845,000	9,950,000	△ 2,105,000
表彰・奨励	455,000	341,000	114,000
国際学術交流	1,510,000	1,624,000	△ 114,000
その他の委員	400,000	350,000	50,000
研究会連絡	480,000	610,000	△ 130,000
その他の事業費	100,000	150,000	△ 50,000
その他会費	30,000	0	30,000
管理費支出	[21,987,000]	[19,046,000]	[2,941,000]
人件費支出	12,259,000	9,570,000	2,689,000
退職金支出	432,000	0	432,000
事務局関連経費支出	5,396,000	5,200,000	196,000
電子情報支出	10,000	10,000	0
電算機開発管理	0	126,000	△ 126,000
総会・役員会支出	1,209,000	1,454,000	△ 245,000
選挙費用支出	0	166,000	△ 166,000
支部交付金支出	2,200,000	2,200,000	0
租税公課支出	481,000	320,000	161,000
事業活動支出計	69,353,000	80,393,000	△ 11,040,000

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
事業活動収支差額	290,000	△ 9,343,000	9,633,000
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
投資活動支出計	0	0	0
投資活動収支差額	0	0	0
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
IV 予備費支出	[290,000]	[500,000]	[△ 210,000]
当期収支差額	0	△ 9,843,000	9,843,000
前期繰越収支差額	3,843,610	10,120,542	△ 6,276,932
次期繰越収支差額	3,843,610	277,542	3,566,068

(2) 収益会計

収支予算書

2008年 4月 1日から2009年 3月31日まで

社団法人 日本気象学会
収益会計

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
事業収入	[15,230,000]	[15,090,000]	[140,000]
天気象集誌	3,160,000	3,310,000	△ 150,000
気象研究ノット	1,300,000	1,190,000	110,000
予稿集	7,690,000	7,510,000	180,000
書店扱	400,000	400,000	0
雑誌収入	2,680,000	2,680,000	0
著作権複写許可料	[20,000]	[20,000]	[0]
事業活動収入計	15,250,000	15,110,000	140,000
2. 事業活動支出			
事業費支出	[6,726,000]	[10,320,000]	[△ 3,594,000]
天気象集誌	1,280,000	1,450,000	△ 170,000
気象研究ノット	920,000	920,000	0
予稿集	4,506,000	7,930,000	△ 3,424,000
管理費支出	20,000	20,000	0
人件費支出	[8,147,000]	[7,167,000]	[980,000]
退職金支出	4,090,000	3,190,000	900,000
事務局関連経費支出	144,000	0	144,000
電子情報支出	1,779,000	1,650,000	129,000
総会・役員会支出	0	10,000	△ 10,000
選挙費用支出	404,000	430,000	△ 26,000
支部交付金支出	0	57,000	△ 57,000
租税公課支出	1,100,000	1,100,000	0
法人税等支出	80,000	1,300,000	△ 1,220,000
その他事業活動支出	550,000	△ 570,000	1,120,000
事業活動支出計	[0]	[180,000]	[△ 180,000]
事業活動収支差額	14,873,000	17,667,000	△ 2,794,000
事業活動収支差額	377,000	△ 2,557,000	2,934,000
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
投資活動支出計	0	0	0
投資活動収支差額	0	0	0
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
IV 予備費支出	[180,000]	[180,000]	[0]
当期収支差額	197,000	△ 2,737,000	2,934,000
前期繰越収支差額	9,088,241	9,243,184	△ 154,943
次期繰越収支差額	9,285,241	6,506,184	2,779,057